

CSV Report 2019

2019年6月



株式会社セゾン情報システムズ

CSV Report 2019 について

- CSV《Creating Shared Value/共有価値創造》とは、企業の経済利益活動と社会的価値創出(=社会課題の解決)を両立させることが重要であるという考え方であり、それを経営戦略に落とし込むためのフレームワークのことです。
- 私たちセゾン情報システムズは、時代に最適なITサービスの提供を通じて、お客様企業の事業価値創造に貢献すると同時に、社会の課題を解決し、近未来社会の創造に貢献していきます。
- このレポートは、この私たちの活動の全体像を、CSVのフレームを借りて、ステークホルダーの皆様と共有していくためのものです。私たちが何を目指し、何に取り組んでいるのか、理解していただくための一助となればと思います。
- 作成にあたっては、様々な分野で個別に進んでいることを、一つの大きなストーリーに位置付けること、それによって、それぞれの活動の目的がより明確になり、取り組みがさらに進化することを目指しています。
- さらにご理解いただきたいするために、「2019年3月期ビジネスレポート」もご一読いただきますようお願ひいたします。

2019年6月
CSV Report プロジェクト

私たちには、事業活動(Product & Service)を通じて、お客様企業の事業価値創造に貢献すると同時に、地域や社会の課題を解決する価値を創造し(Shared Value)、近未来の社会価値の実現(Mission)と、自分たちの企業価値の向上(Vision)を目指していきます。その取り組みの根底にあるのは、私たちの行動規範SISCO WAYです。「お客様と“伴”に・・・」を原点に、お客様の立場、お客様の目線の先にある生活者や社会、未来のお客様の立場で考え、行動します。

セゾン情報システムズの価値創造ストーリー

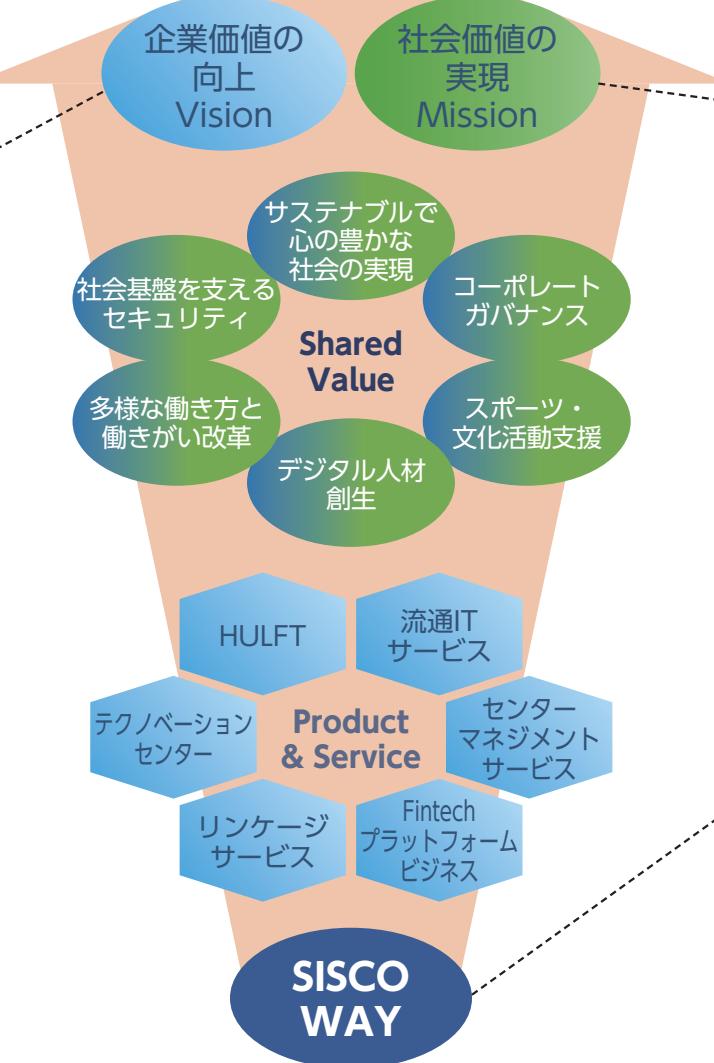
目指すべき企業像

- 特定分野において時代の最先端を行き、お客様のビジネス成長・発展に貢献するIT企業
- 独創的かつ高品質な自社製品サービスを送り出すマーケットリーダー
- グローバルで存在感ある稀有な国産ベンダー
- 創造性豊かで、意欲が高く、実行力がある変革リーダーや真の自律人材が溢れ集まる会社

中期ビジョン

カテゴリートップの実現！

～特定分野において、ダントツの存在感を発揮します～



ミッション

当社グループは、生活者向けに利便性、快適性、および心の豊かさを提供する企業に対し、事業維持・成長・拡大に必要不可欠かつ時代環境に適応したITサービスの提供を通じて、イノベーションを加速させ、近未来社会に貢献します。

行動規範 SISCO WAY

～お客様と“伴”に…～

- Customer First
お客様、お客様のお客様の立場で考え、行動する
- Keep Your Words
あらゆる関係における信頼とひとり一人の責任
- Timely Communication
ステークホルダーとのタイムリーな情報シェア
- Good Manner (Professional Behavior)
人としての真摯な立ち振る舞い、日々人間力を磨く
- Challenge & Speed
俊敏な自発的、自然的行動による自己革新

Product & Service

各事業部門は、テクノベーションセンターのリードとセンターマネジメントサービスの支援を受け、独立事業として、また連携してより統合的なソリューションを提供して、お客様のイノベーションに貢献します。

HULFT(ハルフト)

社会・企業の変化、技術の進化とともに生まれるデータ連携ニーズに対応し、様々なシステムをつなぎ、お客様のIT環境に最適なデータ連携を実現するソフトウェア製品、サービスを提供します。

テクノベーションセンター

自社戦略に即したIT技術を全社に普及・浸透させるため、先端テクノロジーの調査研究、モダン開発の推進、技術者教育の実施、セキュア開発の推進、事業部への技術支援を行います。

リンクエージサービス

業務アプリケーション導入に際し、ソフトウェア、サービス間のデータ連携を当社製品「HULFT」「DataSpider」を活用して実現、お客様の業務プロセスの変革と見える化を、コンサルティング・開発・運用面でサポートします。

流通ITサービス

流通・サービス業界で蓄積されたノウハウを生かし、様々な業種・業態におけるお客様ビジネスの課題を特定し、解決するための最適なソリューションを、オンプレミス・クラウド等お客様に最も適した形態で提供します。

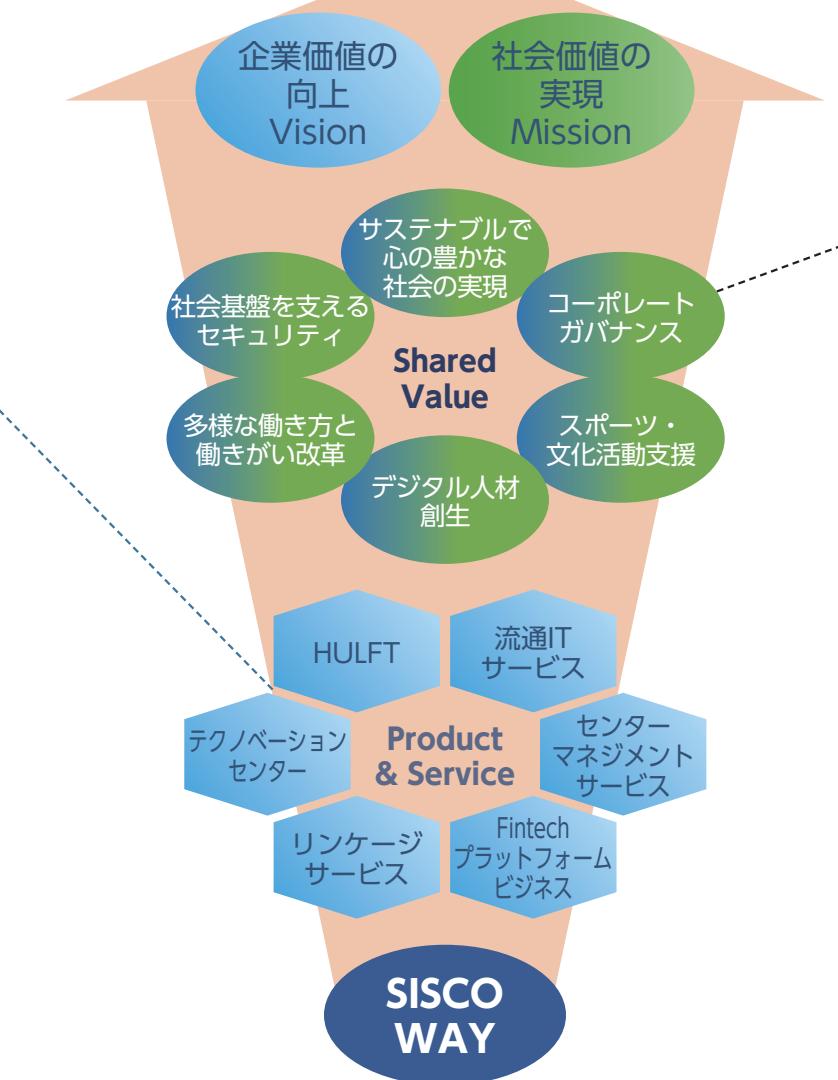
センターマネジメントサービス

情報システムが経営の基盤として重要度を増すなか、私たちは、お客様の大切なシステムを24時間365日、安全・確実に運用します。

Fintechプラットフォームビジネス

金融業界のデジタル・トランスフォーメーションをリードし、お客様のイノベーションを加速、新たな決済関連サービス構築を支援し、業務生産性の飛躍的向上と、お客様のデジタル空間での体験価値の創造を支援します。

セゾン情報システムズの価値創造ストーリー



Shared Value(私たちが創造・共有する価値)

全ての人や企業が、自由自在に安全にデータを活用して新しい価値を創造すること、それによって、すべての人が快適と心の豊かさを手にできる社会が生まれること、私たちはそれをリードし、サポートしていきます。

- 私たちは、これまで培った安全なデータ連携・システム構築運用スキルと、多様なデータやソフトウェアを活用して価値を生む最新テクノロジーで、すべての人や企業が、自在に安全にデータを活用し価値を創造するためのITサービスを提供します。
- そして、デジタル時代に、すべての人が心の豊かさを手に入れることのできる社会の実現を目指します。

そのため、以下の6領域での価値の創造・向上・共有をテーマとして活動を進めます。

1. サステナブルで心の豊かな社会の実現
2. 社会基盤を支えるセキュリティ
3. 多様な働き方と働きがい改革
4. デジタル人材創生
5. 世界にチャレンジするスポーツ・文化活動支援
6. コーポレートガバナンス

次ページ以降この具体的活動をご紹介します。

サステナブルで心の豊かな社会の実現

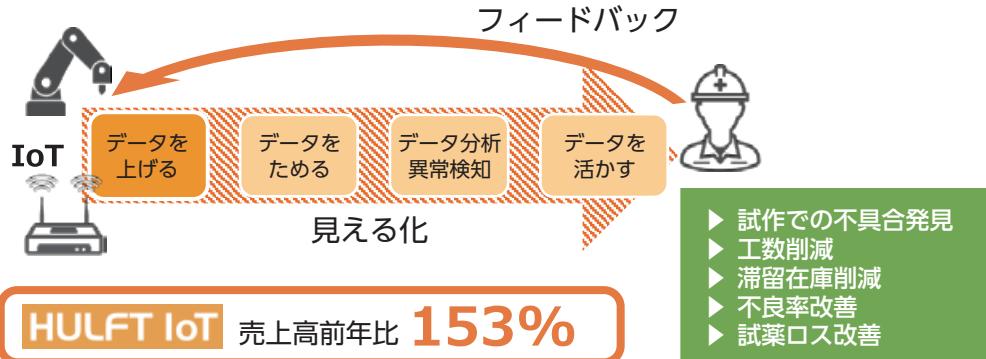
私たちが推進するデジタル・トランスフォーメーションによって、そして地球や地域社会との共生を目指す活動によって、利便性・快適性がありかつ心の豊かさを得ることのできる社会づくりに貢献します。

環境負荷低減に貢献するHULFT IoT

当社が提供するIoTクラウド分析サービスは、生産ラインの品質改善と生産性向上のきっかけをタイムリーに発見し「成果を出せるIoT」を実現することができます。当社の技術(HULFT IoT)は、本サービスにおいて、製造現場の各種機器とクラウドをデータ連携基盤として確実かつセキュアに連携し、安全・安心なサービスの実現に貢献しています。

本サービスは、製造現場において収集したデータを「見える化」することで、特異点や異常傾向をタイムリーに把握し具体的なアクションにつなげることができます。工場内の機械とインターネットを接続し可視化や最適化するスマートファクトリーが実現した結果、製造現場における工程のロスを削減し、生産性の向上を図り、環境負荷低減にも貢献しています。

スマートファクトリー



■ IoTデータの利用シーン



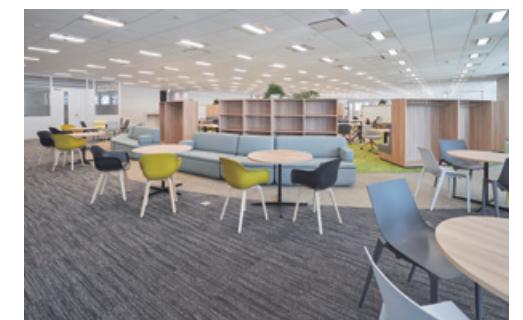
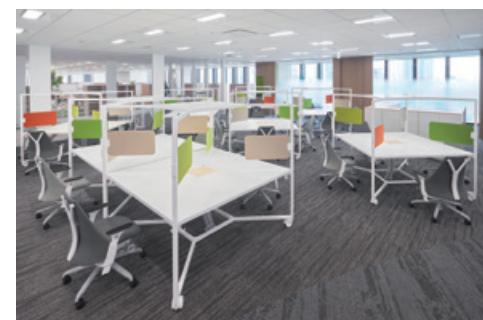
省エネルギーを実現するデータセンター運営

スマートサービスセンターが運営するデータセンターでは、当社のデータ管理だけではなく、お客様の要望にオーダーメイド形式で応える「サーバ資源およびストレージ資源」を提供しています。

クラウド型ホスティングサービス「SAISOS」は、高機能なサーバに耐える効率的な電力供給を備え、グリーンIT対応として地球環境に配慮した、先端技術を駆使した都市型データセンターです。

職場環境における環境負荷の低減

当社は、2017年のオフィス移転に伴いそれまで複数あった拠点を集約いたしました。集約により機器の使用の重複削減等や、フリーアドレスの導入による生産性向上とともに、会議体でのプロジェクトの使用を推奨することによるペーパーレス化へ貢献しております。



オフィスの様子

書類保管量

▲45%
移転前比

光熱費

▲47%
移転前比

コピー枚数

▲46%
移転前比

社会基盤を支えるセキュリティ

私たちは、お客様に高いレベルのセキュリティを備えたサービスを提供すると同時に、自社内においてもさらにいっそう高いレベルのセキュリティを目指します。そしてお客様が提供する社会基盤を支えるセキュリティのリーダーシップを目指します。

ミッションクリティカル業務を支える データ連携ソフトウェア製品・サービス群

当社が販売するHULFTおよび周辺の製品群は、国内シェア80%超*、世界シェアも上位のソフトウェア・サービスです。特に処理の失敗が許されない金融業のデータ連携に必要十分なセキュリティを前提に開発しており、ソフトウェアには一定程度存在してしまう障害を極小化し、かつ運用を止めない高品質なサポートサービスを用意して、現在ではあらゆる業界においてミッションクリティカルなデータ連携に欠かせない存在となっています。

Q.HULFTのセキュリティの特徴は？

A. 独自の暗号方式を標準で備え、情報漏洩を予防しています。

Q.他のソフトウェア製品開発との違いは？

A. 社会インフラとして機能する製品であるため、過去製品との互換性を最も大切に考えています。開発には永く経験を積んだウォーターフォール型と呼ばれる開発プロセスを採用し、開発技術も厳選しています。一方で最新のトレンド技術の研究開発は継続的に行い、製品にフィードバックしています。

Q.HULFTの安全性はどのように確保している？

A. 開発部門と検査部門を別部門とし、客観的で厳格な検査を行っています。検査項目は20万に及んでいます。



製品障害発生率
0.09%

一次問い合わせ解決率
91.1%

■セキュリティベンダーとの提携

提携しているセキュリティベンダーの製品と当社製品とを組み合わせることによって、不正アクセス・改ざん等多くの脅威からお客様のデータを守り、よりセキュアなデータ連携を実現しています。

最先端のブロックチェーン研究

ブロックチェーン技術は、ビットコインをはじめとする仮想通貨としての利用だけではなく、あらゆる「取引」を支える存在として注目されています。これは、ブロックチェーンの考え方方が、今までの技術のセキュリティとは一線を画す高さを保持しているからでもあります。研究の成果として、宅配ロッカー「Delivery Locker on Blockchain」の実用化が始まるなど、最先端の領域でもお客様のセキュリティを支える存在感を発揮しています。



お客様のデータを安全にお預かりするデータセンター

当社では、エンドユーザーの個人情報をデータセンターにお預かりしており、常に発達するサイバー攻撃に対して、求められるセキュリティレベルをクリアする設備、体制を整備しています。

■システム開発と連携したセキュリティサービス

当社の運用の特徴は、システムを開発する部門と連携を密にした、お客様業務のあるべき姿を追求する点にあります。あるべき姿に基づく体制、プロセスを構築し、クラウド技術やネットワーク、監視システムのスペシャリスト、運用SE/オペレータが24時間365日体制で「安心、安全、安定」のシステム維持、運用サービスを支えています。

■「マルチクラウド」サービス

データの保管等において、どの会社/個人でもすぐに利用が始められるクラウドサービスが拡大する一方、汎用サービスではカバーしきれない領域も確実に存在します。当社は個別のお客様ごとに、環境構築と運用も含めて提供する従来サービスとクラウドサービスの強みを互いに生かす、「マルチクラウド」サービスの実現に取り組んでいます。

※出典：株式会社富士キメラ総研「パッケージソリューションマーケティング便覧」「ソフトウェアビジネス新市場」<ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース>
2003年度実績～2017年度実績・2018年度見込

多様な働き方と働きがい改革

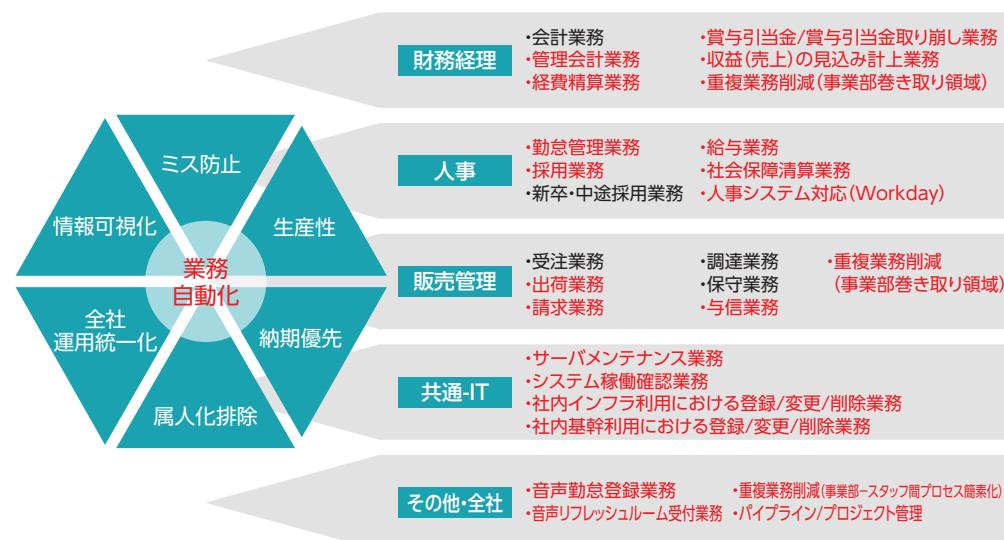
日本の社会、特に情報産業にとって、働き方と働きがいの改革は大きな社会課題です。私たちは、最新のDX(デジタルトランスフォーメーション)技術によって生産性を向上させ、働きがいを革新し、働く人の自己実現とワーク・ライフバランスのとれた豊かな社会の実現を目指します。

ワーク・ライフバランスの推進

■社員一人ひとりのライフスタイルにあった働き方ができる環境整備として柔軟な勤務体系、制度、風土の構築と適正な労働時間実現に努めています。

主な取り組み	
時短勤務	育児・介護の両立
フレックス	業務に合わせた勤務時間の選択
テレワーク	働き方の多様化 育児・介護の両立
業務断捨離	業務効率化の向上

■デジタル化によって、社内の業務効率化による生産性向上を実現しています。



■結果、このように働き方改革が進みました。

①平均残業時間	②平均有給取得日数	③休職者数(私傷病)	④メンタルシック率	⑤女性比率
22.5H 2015年度28.0H (▲5.5H)	15.8日 2015年度11.9日 (+3.9日)	8名 2015年度4名 (+4名)	0.8% 2015年度27.4% (▲1.6P)	25.8%
⑥出産後の復職率 100% (10名中10名)	⑦モバイルワーク利用部門 53.3% 2015年度92% (13名中12名)	⑧在宅勤務利用部門 65.5% 2017年下期43.3% (+22.2P)	⑨社員一人当たり年間教育日数(※) 12日	

(※)業務効率化により
教育研修の時間が増加

DXを活用した業務効率化の取り組み

■最新テクノロジーを活用した、お客様の業務効率向上を進めるサービスも提供しています。

【お客様が導入したCONCUR e文書法機能概要】



【小売業の店舗運営に必要な情報】



多様な働き方と働きがい改革

Amazon Alexaを活用した障がい者支援

■開発の経緯

当社は、障がい者の能力や適性を活かし“伴”に働くことができる環境を整備し、2008年以降、鍼・マッサージの資格をもつヘルスキーパーを採用して、障がい者雇用を推進しています。また、社員の心身のリフレッシュ環境を整備することで生産性向上のサポートをしています。



リフレッシュルーム

リフレッシュルームで働くヘルスキーパー3名は視覚障がいがあります。そのため、クイックマッサージの受付や呼び出し業務には、晴眼者のフォローが不可欠でした。ヘルスキーパー側は、受診者を把握することが困難ですが、受診者に直接確認することは抵抗があり、円滑なコミュニケーションをはかりにくい現状がありました。そのため2018年、DXを活用し、Amazon Alexaによる障がい者がさらに自立して働く環境を実現しました。

■マッサージ業務支援スキル「クイックちゃん」開発

データ連携ソフトウェア「DataSpider」とAmazon AlexaのVUI(ボイスユーザーインターフェース)を活用し、運営に携わる障がい者向けのマッサージ業務支援スキルを構築しました。

障がい者の働くチャンス拡大にも貢献しています。

多様な雇用への貢献(SISCOファーム)

当社は、障がい者の雇用を支援する活動の一環として、働き方を支援する農園(SISCOファーム)を運営しています。同農園で収穫された野菜の寄付も実施しており、今後は子ども食堂などのNPO法人にも寄付することを通じて、地域コミュニティへ貢献していきます。

■ソポーターなしの自立的運用を実現

- ロス時間が無くなりストレスのない運用になった
- Alexaに興味を持ちリフレッシュルームへ来る社員も増え、コミュニケーションも活性化した
- 自分たちだけで業務をこなせるようになり、達成感を感じ、自信にもつながった



■Amazon Alexa Skill Awards 2018 ～最優秀賞と特別賞のダブル受賞～



受賞記念写真

Alexaスキルの可能性を広く伝えることを目的としたコンテスト「Amazon Alexa Skill Awards」では、業務の自動化・効率化とその技術的完成度だけでなく、障がいをもつ社員が自立的かつ主体的に働くことができる環境の提供という社会的な有効性が評価されました。



SISCOファームと収穫された野菜

デジタル人材創生

社内の若手人材に限らず、これからデジタルテクノロジーをリードする学生をも対象として幅広く、最新テクノロジーの獲得とレベル向上を支援するとともに、少子高齢化の進展により訪れる人材不足社会を見越して、業界の魅力を伝え、デジタル人材を創生していきます。

高専生向けインターンシップの実施

■仕事を体験する機会を提供

高等専門学校生が、その技術を実際に体験することで、学んでいる情報系学問や技術が社会とどのように関わりあっているかを理解する機会となるよう、インターンシップを実施しています。また、学生にとって、自らの適性や適職、社会貢献について考える機会となることも考慮に入れて取り組んでいます。



グループワークの様子

技術研修

■技術力強化とオープンイノベーションの推進

当社は、長年にわたり培ってきたノウハウだけではなく、テクノロジーの強化を図るため、技術教育にも積極的に取り組んでいます。テクノベーションセンターを中心に各事業部のメンバーへの研修や勉強会を実施して技術習得の機会を設けています。こうした継続的な研修を実施した結果、技術資格取得者数の増加や事業部を横断したプロジェクトが増加し、新しい価値を提供することに繋がっています。

■技術教育の実績(2019年3月期)

社内教育	社外教育
89コース開催	125コース申込
延べ参加者数 939名	延べ参加者数 169名

社内技術教育受講例(延べ人数)
AWS教育 99名
Java系教育 98名
UI/UX教育 91名
Azure教育 83名
Python教育 43名

全国高等専門学校プログラミングコンテストに協賛

■IT業界に優秀な人材を供給するための支援

全国高専プログラミングコンテスト(全国高専プロコン)と呼ばれる大会は、全国の高等専門学校の学生たちがテーマに沿ったプログラムを考案し、アイディアや完成度を競う大会です。当社は、全国高専プロコンを産学連携のもと次世代のIT技術を担う人材育成の場と捉え、過去3年にわたり協賛しております。優秀なIT技術者が育成される環境を大切にし、このような大会を通じて、IT業界全体の発展に貢献したいと考えています。

【自由部門の企業賞】

2018年度セゾン情報システムズ企業賞

「香川高専(詫間) わあるど」

「手をつなぎ」交流を深めるアプリケーション

SISCO Freshers Lab. (新入社員研修)

新入社員へは入社後3ヶ月間にわたる研修(SISCO Freshers Lab.)を実施して、これからお客様へ価値を提供できる基礎的な記述を習得する機会を設けています。

フリースクールデジタル支援

当社は、オフィス移転に伴う拠点の集約によって発生した余剰の用度品や情報機器を学校をはじめとする外部団体へ寄贈する活動を行っています。さらに今後は、モノの寄贈に留まらず、子供たちに学校以外で育ち学ぶ環境づくりの活動を行っているNPO法人等への支援も視野に入れています。

子供たちにプログラミング技術を学んでもらい、一緒に何かを創り上げて、楽しみや喜びを感じられる機会を作りたいと考えています。

世界にチャレンジするスポーツ・文化活動支援

私たちが目指す未来は、まさにグローバルのデジタル巨人たちが大きな壁となり立ちはだかる領域です。私たちは、彼らと時には競争し、時には協業・連携しながら、日本の情報産業の在り方を模索しています。そして、日本人がまだまだ得意としている分野において、世界に挑み続ける日本のアスリートを応援し、ともにチャレンジを続けていきたいと思います。

支援方針

世界に挑み続けるアスリートが、「競技生活」と「社会人」それぞれの自立を両立し、大学や市区町村と連携を図りながらチャレンジできるように支援、応援を続けていきたいと思います。現在はHULFT陸上部として400メートル走をメインとしている2名の選手が所属しています。

2名とも2020年の東京オリンピック出場を目指して、日々トレーニングを重ねています。 ※男子400メートル走の世界記録:43秒03、日本記録:44秒78

小林直己選手



<プロフィール>

1990年12月20日生まれ
身長170cm 体重65Kg
神奈川県出身
ベストタイム 45秒79

<主な実績>

- ・世界選手権出場
(4×400mリレー、2015年)
- ・世界リレー大会出場
(4×400mリレー、2015年)
- ・日本選手権400m 3位(2014年)

アスリート・ダッシュボード開発運営

体組成計、GPSウォッチなどから収集した選手の生体活動データを、当社の強みである「DataSpider」などでつなぐ技術を使い、自動で可視化できるようにしています。

根拠・仮説をもって、データ収集→可視化→分析→改善のサイクル(PDCA)を実行することにより、競技力向上に役立てています。

【収集している主なデータ】

- | | | |
|---------|------------|------------|
| ・体組成 | ・身体バランス | ・食事やサプリメント |
| ・練習メニュー | ・ピッチやストライド | ・速度や心拍数 |



ダッシュボードのイメージ

加藤修也選手



<プロフィール>

1995年4月16日生まれ
身長185cm 体重73Kg
静岡県出身
ベストタイム 45秒69

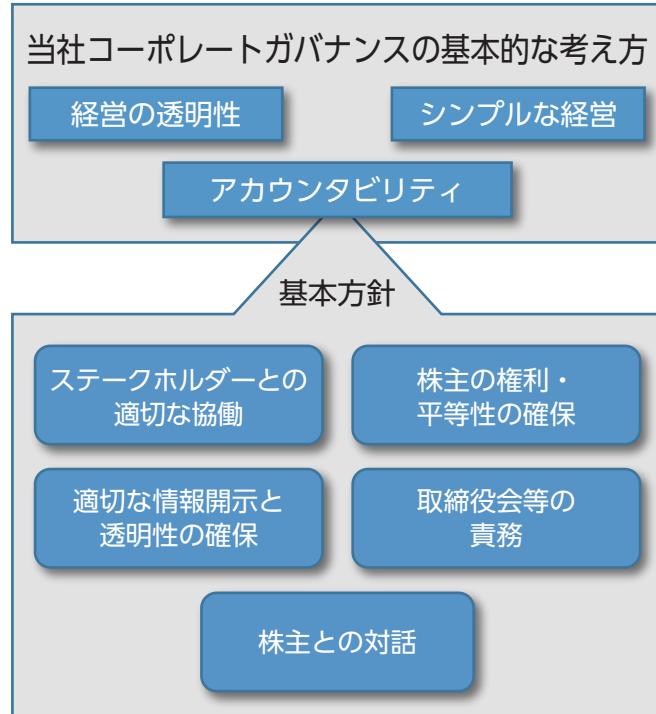
<主な実績>

- ・リオデジャネイロオリンピック出場
(4×400mリレー、2016年)
- ・日本選手権400m 2位(2016年)
- ・日本インカレ400m 優勝(2014年)

コーポレートガバナンス

「経営の透明性」、「アカウンタビリティの向上」および「シンプルな経営」を基本として、社外取締役・社外監査役を積極的に選任し、透明性の高いガバナンス体制の確立と適時適切な情報開示に取り組んでいます。

基本的な考え方



■ステークホルダーとの適切な協働

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、株主をはじめとしたすべてのステークホルダーとの協働が必要であることを認識し、役員および社員が当社の行動規範(SISCO WAY)に則り行動するとともに、各種の社会的課題の解決に、お客様と“伴”に積極的に取り組むことで、ステークホルダーから信頼される会社となることを目指します。

■株主の権利・平等性の確保

全ての株主の実質的平等性の確保に配慮するとともに、株主の適切な権利行使に資するべく、ポジティブであるかネガティブであるかを問わず、適時適切に情報を開示し、提供しています。

■適切な情報開示と透明性の確保

法令に基づき、四半期ごとに会社の財政状態、経営成績等の財務情報を開示するとともに、株主をはじめとする全てのステークホルダーにとって重要と判断される非財務情報についても、決算説明会、本CSV Report、ウェブサイト、ニュースリリース等、適時適切な方法で積極的に発信します。

■取締役会等の責務

当社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図るべく、企業戦略として原則3年ごとに中期経営計画を策定しております。社外取締役、社外監査役による客観的かつ中立的で、実効性の高い監督体制を構築するなど、業務執行取締役の職務執行に対する評価・監督を行っています。

■株主との対話

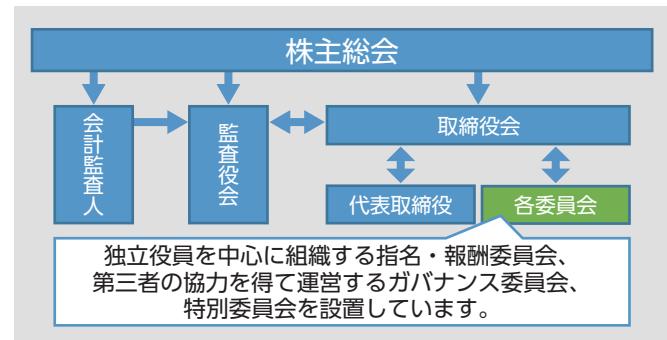
当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、当社側からの情報提供のみならず、株主・投資家との意見交換をより一層図るべく、IR体制を強化し、株主や投資家からの取材、会話の申し込みに対し、積極的に応じてきます。

トピックス

■2019年3月期の取り組みをご紹介します。

①指名・報酬委員会の設立

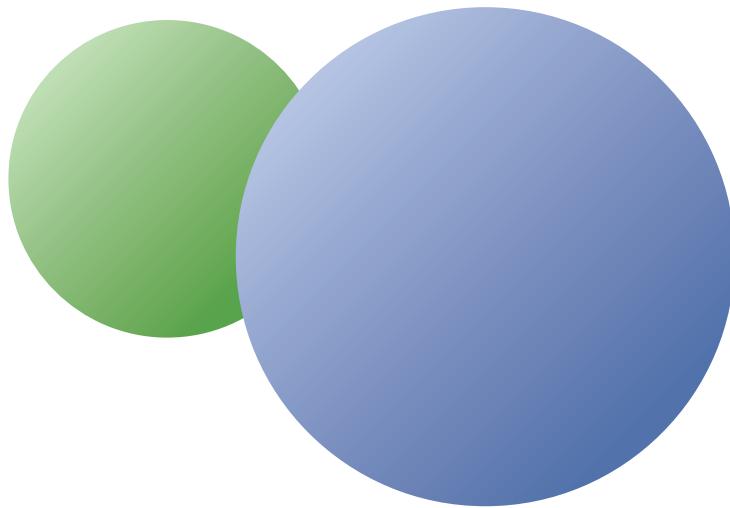
当社では社外取締役、監査役の専門的な知見を活かした経営ができる体制を整えています。また、その体制が正しく維持され、かつ発展していくことをめざし、独立役員を中心に組織する指名・報酬委員会や、第三者の協力を得て運営するガバナンス委員会、特別委員会を設置することで、透明性の高い経営を行っています。



②役員報酬の基本方針を一部改訂

経営人材の多様な人材確保を図るため、当社の役員報酬の目的に、「社外からの優秀人材確保」を掲げました。また、基本方針として、TSR*を指標の一つとすることとしました。報酬決定プロセスは、指名・報酬委員会で審議することにより、客觀性・透明性・妥当性を確保し、株主の皆様に一層のご支持をいただけるよう尽力しています。

*TSR…株主総利回り



SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO., LTD.

株式会社 セゾン情報システムズ

<https://home.saison.co.jp/>

